

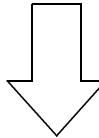
チェック 1

- 握ねの大きさは



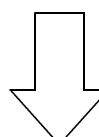
チェック 2

- 負傷者の有無は?
- 通報（119番）の必要があるか?



チェック 3

- 引き取り者が来られない児童はいなか



△ 警察・消防等

富岡警察署 62-0110
小幡駐在所 74-3178
富岡消防署甘楽分署 74-3139

△ 医療機関

小幡医院 74-2018
富岡総合病院 63-2111

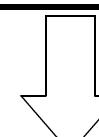
△ 移送機関

救急車 119
昭和タクシー 74-2022
上信ハイヤー 62-2621



チェック 4

- 危険が回避されたか?



チェック 5

- 学校の再開が可能か?

◎ 確認・連絡 [初期対応]

● 児童の安全確保

【教室・特別教室・廊下】すぐに教室に入り、机の下にもぐる。
【体育館】非構造部材(窓など)から離れ、照明の落ちてこない場所に頭を保護してしゃがむ。

● テレビ、ラジオ、インターネット等による情報収集

◎ 連絡・通報
[震度5以上の地震]

● 児童の掌握

停電等で電源が使用不可の場合

◇ 全校児童への連絡・拡声器等を使う

『全校の皆さんに連絡します。地震がいったんおさまりましたが、電気が使えません。緊急事態発生です。先生の指示に従って保護者の迎えがあるまで、教室で待機してください。』※体育館

児童学校待機、保護者の迎えで直接引き渡し

電源が使用できる場合

◇ 全校児童への連絡(校内放送)

『全校の皆さんに連絡します。地震はいったんおさまりましたが、緊急事態発生です。先生の指示に従って、保護者の迎えがあるまで、教室で待機してください。』※体育館

学校より、緊急引き取りメールを各家庭に配信。
保護者の迎えで直接引き渡し。[緊急引き渡しカードの活用]

- ◎ 担任……………児童掌握
- ◎ 教務、担任外、その他可能な職員……………巡回、危険箇所の点検。校庭自動車の誘導
- ◎ 教頭……………メール配信、返信の確認
- ◎ 養護教諭……………応急手当の用意

● 現場確認

教務、その他可能な職員
状況の観察

◎ 退避 美佳

[震度5未満で単発的な地震]

● 児童の掌握

◇ 全校児童への連絡(校内放送)

『全校の皆さんに連絡します。地震がいたんおさりました。先生の指示に従って校庭に避難してください。』

児童の安全確認後、通常授業を行う。

※通学路の安全確認を行う。

本校が町の避難場所になっている
↓
災害発生時には、町の災害担当者と連携がとれるように、事前に協議しておく。
・校庭に「防災倉庫」あり

避難場所

特に指示のない場合は、避難場所は、校庭藤棚前
＊場合によっては体育館

◎ 事後対策本部設置 [事後対応]

- 全体指導……………校長・教頭
- 保護者への連絡……………教頭・教務主任・各担任
- 生徒の保護、ケア……………担任・養護教諭・スクールカウンセラー
- 報告書の作成……………安全指導主任

- 教育再開準備……………教頭・教務主任・生徒指導主任
- 情報収集、管理……………教務主任・生徒指導主任
- 外部団体への対応……………校長・教頭
- 再発防止策の検討……………生徒指導主任・安全主任